

市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 13

おもな内容

- 特集 ————— 2～3
伊賀市と甲賀市 議長対談
- 議案審議・議会人事 ————— 4～5
- 常任委員会報告 ————— 6～9
- 代表質問 ————— 10～12
- 一般質問(13名が問う) ————— 13～17
- 特別委員会等の動き ————— 18～19
- くつろぎこうか [シリーズVol.9] — 20
甲賀の味シリーズ①



今年も伊勢の大神楽が
やってきました……

水口北保育園

伊賀市を訪ねました…

合併して丸三年…

服部 本日は、お忙しいなかありがとうございます。昨年は議会として初めて交流の機会をもたせていただきました。県は違いますが、新名神が開通すればますます市民の交流も深まるのでは…。

岩田 そうですね。新名神ができると一層親

密な関係になっていくものと思っています。すでに、消防では協定を結んでいます。光の面でも両市が相乗効果を発揮できるようにしたいですね。

服部 伊賀と甲賀。ともに忍者のまちですね。
岩田 いま世界でも忍者ブームですよ。

地域に出かけて「議会報告」や「出前講座」も…



伊賀市議会議長
岩田 佐俊

長

議会

甲賀市

2007年12月末日現在

- 市政施行 2004(平成16)年10月1日
5町が合併(水口・土山・甲賀・甲南・信楽)
- 人口 95,765人
- 世帯数 31,761世帯
- 面積 481.69km²
- 議員定数 30

伊賀市

2007年12月末日現在

- 市政施行 2004(平成16)年11月1日
1市3町2村が合併(上野市、島ヶ原村、伊賀町、阿山町、大山田村、青山町)
- 人口 102,266人
- 世帯数 38,999世帯
- 面積 558.17km²
- 議員定数 34

服部 ところで合併して丸三年。伊賀市もほぼ一緒の時期でしたね。

岩田 ええ、甲賀市さんとは一ヶ月遅れ。一市三町二村の合併です。

服部 甲賀市の場合「小さな本庁、大きな支所」がうたい文句だったんですが、伊賀市は「大きな支所」のまま、支所に職員が多くおられると聞いているのですが…。今はどうですか？

岩田 実は、今、支所機能のあり方について見直しが迫られております。最近支所よりも本庁に來られる市民が多くなって。それに空き部屋の活用も課題に。

服部 それは甲賀市も一緒です。

岩田 旧の議場なんか物置になって…。もったいないですので、有効な活用が必要です。

服部 うちも空き室を民間に開放を呼びかけたのですが、応募がない。旧の議場はどこも物置です(笑)。ただ、本庁の充実と支所との緻密な連携で、市民に不便をきたさないということが大事だと思いますね。

岩田 伊賀市は、高齢化率が昨年9月末で25.6%と高いうえに交通の便が悪いために、コミュニティバスはあるものの、もつと気軽に役所や病院に行けるような対策をしてほしいという要望が特に強いです。

服部 甲賀市の場合は、コミュニティバスの運行をしています。今後さらに地域の交通をどうしていくのか。議会でも「交通対策特別委員会」の中で、デマンドバスの運行も勉強しています。
岩田 なるほどね。私は、昼間、空いているタ

議

対



甲賀市議会議長

服部 治男

市として全国初の「議会基本条例」を制定されたんですね。

クシーを利用したらどうかと提案しているんですよ。また、医師不足から地域医療の充実に切実です。

服部 それはどこでも同じ。全国的な課題ですね。わが市も切実です。

財政危機のなかで…

岩田 自治会への補助も合併によって低い方に。ですから、議会報告会などに行くと「合併したら、公共料金は上げてくるわ。補助は低いところにあわす。これでは話が違う」と

甲賀市と伊賀市の正副議長
(後列左から伴資男甲賀市副議長、馬場登代光伊賀市副議長)

市民からよく怒られるんです。地方財政が大変ななかで、市民の暮らしをどう守るのか。大変な時期ですな。

服部 ええ。今年は10%、次の年は15%カットという具合に…。そのうえ、滋賀県が今年より400億円の歳入不足が生じるとして「財政構造改革プログラム」を打ち出しました。甲賀市の影響は2億円を超えますよ。

岩田 非常に厳しい財政難です。私どもも、知事に対して「関西本線の複線化、複線は無理でも電化だけでも」と要求をしているのですが。なかなか難しいようです。

議員の役割は大事…

服部 議員の果たす役割もさらに重要になってきていますが、伊賀市は昨年、市として全国初の「議会基本条例」を制定されましたね。

岩田 ええ、非常に視察が多くて、1月の予定を入れると全国から千人にもなります。

服部 制定のきっかけは…。

岩田 合併して、「議会が見えてこない。議員さん何をしているのか」という声が多かったんです。だから、制定するまでに、56会場で、83団体500人の人と意見交換して素案を作成、さらに市民の意見をふまえて議員提案したのです。
服部 地域に出かけて議会報告をやってもらえますね。

岩田 ええ。議席番号順に6班を編成し、市内38の住民自治協議会単位に開いているんです。議員に対する率直な批判や市に対する切実な要望が寄せられ、答えられない時も(笑)。それに対応しようと思えば、議員も勉強せなあかんわけです。
服部 それはいいですね。自分の出身地域だけでなく他の地域も勉強させてもらえる。今後は、市議会議員として大きな視野で活躍してもらわないと…。

岩田 昔は地域の議員さんでよかった。しかし議員の数が減り範囲が広がってくるとそれは通用しない。合併してから議員活動の認識が変わったと思いますよ。

服部 そうですね。ぜひ甲賀市でも「議会基本条例」制定にむけて今後とも勉強させていただきます。本日はありがとうございます。

岩田 こちらこそ、よろしくお願います。

市民の皆様の意見が反映できるよう努めます

新しい 議会人事

民生常任委員会



委員長 中西弥兵衛
副委員長 白坂萬里子
中島茂、土山定信、
鶴飼勲、林勝彦
山岡光広

総務常任委員会



委員長 福西義幸
副委員長 加藤和孝
今村和夫、岩田孝之
友廣勇、安井直明
村山庄衛、辻重治

文教常任委員会



委員長 辻金雄
副委員長 藤井克宏
橋本律子、葛原章年
伴資男、木村泰男
舩藤男

産業建設常任委員会



委員長 河合定郎
副委員長 野田卓治
山川宏治、石川善太郎
小松正人、酒巻昌市
松本昌市

現議員の任期二年が経過し、議会人事が一新されました。議長には服部治男(再)、副議長には伴資男(新)、監査委員には山川宏治(新)が選ばれました。常任委員会・特別委員会・議会運営委員会等の新しい体制は次の通りです。

◎特別委員会

交通対策特別委員会

委員長 安井直明
副委員長 石川善太郎

新名神地域振興特別委員会
委員長 辻重治
副委員長 鶴飼勲

環境・廃棄物対策特別委員会
委員長 小松正人
副委員長 土山定信

地域情報対策特別委員会
委員長 友廣勇
副委員長 山岡光広

甲賀広域行政組合議会
服部治男、山川宏治、橋本律子、
安井直明、村山庄衛

公立甲賀病院組合議会
服部治男、山川宏治、橋本律子、
友廣勇、村山庄衛

岩田孝之、福西義幸
野田卓治、加藤和孝
木村泰男、舩藤男

岩田孝之、福西義幸
友廣勇、加藤和孝
中西弥兵衛、河合定郎、
福西義幸、辻金雄

橋本律子、友廣勇、
村山庄衛、藤井克宏、
松本昌市、山岡光広

橋本律子、友廣勇、
村山庄衛、藤井克宏、
松本昌市、山岡光広

橋本律子、友廣勇、
村山庄衛、藤井克宏、
松本昌市、山岡光広

総務常任委員会

市行政推進の中枢を担っている委員会です

市議選と市長選の選挙運動の公費負担に関する条例案を否決

総務常任委員会では、継続審議となっていました、「甲賀市議会議員及び甲賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定」の議案について、審査しました。本議案は、公職選挙法に基づき、市議会議員及び市長候補者の選挙運動費用の一部を公費で負担し、市民のだれもが立候補し市政参画への環境



の充実を図るために制定されるものです。委員会では、財政が大変なかで、議員定数削減、議員報酬、政務調査費など、包括的に議論を

進めていくことが望ましい、選挙費用の公費負担で門戸を広げることは幅

広く立候補できる環境を整えることとなるなど多くの意見が出されました。慎重に審査を行った結果、本議案について、委員会では賛成少数により否決すべきものと決定しました。

委員会では、8名の構成で総務、企画、財務、会計、監査、議会の所掌事務を担当することとなります。行政推進の中枢を担っており、市民の付託に応え「生活の豊かさや、まちの活性化に向けて」、委員一同努めてまいります。

「議会基本条例」を制定した伊賀市議会と交流

自治基本条例及び議会基本条例について研鑽を行うため、三重県伊賀市議会へ10月30日、視察研修に行きました。

本研修では、議会の議論を円滑にするための議会基本条例に議論が集中しました。

伊賀市では、政策討論会や地域への議会報告会の開催など、議会の活性化に対し積極的な取り組みがなされており、本市議会においても大変参考になりました。



区画整備された中心街を視察



伊賀市議会総務常任委員会との意見交換

市民生活の豊かさやまちの活性化に向けて

●調整会議（12月18日）
正副委員長・所管部署次長の参集により、「総合計画」に基づく施策推進について、委員会のもち方等、スケジュール調整会議を行いました。



計画調整会議

委員会報告

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

「年金記録」問題早急な解決求める請願 趣旨採択

最低保障年金制度実現の請願は不採択

民生常任委員会に付託された「宙に浮いた年金記録」問題の早急な解決を求める請願、最低保障年金制度の実現を求める請願について、12月18日に慎重審議しました。

「宙に浮いた年金記録」問題の早急な解決を求める請願は、現在、世論や国会で問題となっている名寄せができていない不明な年金記録や本人が給与天引きされて支払っていないにもかかわらず、会社が払っていないといった問題について、「国や社会保険庁が一所懸命やっているのはわかるが、だからそれでいいというのではなく、最後の一人まで解決してほしい」というのが願意です。

審査では、政府の責任において最後の一人まで統合していく環境を作る努力、また、「ねんきん特

別便」の早期発送、死亡や名前の変更などで照合が困難な記録は、国民の確認・申請等の協力が必要であるなどの意見があり、慎重に審査を行った結果、本請願は国民的な課題でもあり、全会一致により趣旨採択と決定さ

れました。

また、最低保障年金制度の実現を求める請願書では、最低保障年金を国が全面的に見ていくという部分は、膨大な財源も必要で、低年金・無年金が多い中で、最低保障年金制度、外国籍労働者の年金について

も、今後は確立していく必要がある。また、払いたくても払えない部分についての何らかの救済措置、払えるのに払わない部分のペナルティを与える必要等の意見がありました。慎重に審査を行い、賛成少数で不採択となりました。

医師不足で患者数激減

今後のあり方検討「マスタープラン」



水口市民病院

●最近5年間の外来診療科目の推移

年度	診療科目	内容	常勤医師数(年度末)
平成14年9月	産科廃止		7
平成14年11月	婦人科	月～土が月水金に減	7
平成15年4月	婦人科	月水金が水に減	7
平成16年4月	内科	木曜2診が1診に(消化器科減)	5
平成16年9月	内科	火曜2診が1診に(消化器科減)	5
平成16年12月	小児科	月～金の午後診療止	5
平成17年4月	小児科	月～土が月水金土に減	4
平成17年7月	内科	木曜1診が2診に(消化器科増) 火曜1診が2診に(消化器科増)	4
平成17年9月	小児科	月水金土が月～土に増	4
平成18年4月	外科	月～土が月水木土に減	2
平成18年6月		救急指定取下	2
平成18年10月	麻酔科	廃止	2
平成19年1月	外科	月水木土が月水土に減	2
平成19年6月	内科	金曜2診が1診に(消化器科減)	2

水口市民病院は、ここ数年、医師不足の影響で、診療科を縮小せざるをえなくなり、患者数も年々減り続けています。入院患者のベッドの稼働率も3年連続で7割以下となり、「縮小」の対象とされています。病院では経費節減をはかるとともに、今後のあり方を検討するため「マスタープラン」を作成中です。18日の常任委員会では、病院側から医療体制の現状について報告がありました。



紹介議員から説明をうける民生常任委員会

75歳以上の高齢者すべてを対象に、4月から新たな医療保険制度Ⅱ後期高齢者医療制度が発足します。保険料は、年間平均ひとり72,955円。甲賀市内では、対象となるのは約1万人。これまで健保の扶養だった人は新たな負担増となるため、政府は、半年間は凍結、さらに半年間は1割とする軽減策を講じるとしています。

この制度発足に伴い、国民健康保険特別会計も大きく影響します。民生常任委員会では、当面する大きな課題であるだけに、県広域連合の動きを見守りながら、調査研究をすすめていくことにしています。

4月から
75才以上対象に
後期高齢者医療制度

産業建設常任委員会

産業・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です

「甲賀市みんなのまちを 守り育てる条例」を制定

産業建設常任委員会で、12月18日に執行部から資料の提出と説明を受け、付託された条例案や請願について慎重に審査を行いました。



甲賀市みんなのまちを 守り育てる条例の制定

開発許可等の権限移譲に伴い、甲賀らしさを取り入れ、まちづくりの基本理念を定め、市民参画によるまちづくりの推進を図るもので「今までは、

造成があれば、区や集落の同意が必要であったが、今後はどうなるのか」「この条例は、無秩序な乱開発防止策なのか、それとも開発を容易にするための基準を設けたものなのか」などの質疑・議論があり、特に市民の責務がより重大となり、説明責任が重要だという意見が多く出ました。

甲賀市開発許可の基準等 に関する条例の制定

平成20年度から、開発許可等の権限が県から市に移譲されることに伴い、甲賀市総合計画において、甲賀らしさを取り入れた開発許可制度とすることが目的で、この条例制定のポイントを一口に言えば、土山並びに信楽高原都市計画区域

にあつては、3,000平方メートルから1,000平方メートルとなり、道路、公園や集会所など公益的施設の技術的細目の制限を求めている点です。

両条例の制定については、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

品目横断的経営安定対策 の見直しと、多様な担い 手の育成を求める請願

現段階では生産条件面積や法人化義務も緩和されつつあり、「請願は遅いのでは」「バラ撒き農政に逆戻りしないか」などの意見も出て討論・採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

所管事務調査(前委員会)

委員会では、各地域の所管事務の現状を認識するため、現地調査を行なっています。今回は水口地区の現地調査を10月24日実施しました。

水口地区

① 上下水道施設水口第1水源地
原水槽の監視には、濁度計や監視装置のほか、メダカで原水を確認しています。

② 古城山治山事業
(語らいの森整備)
古城山の防災対策及び保健休養機能増進施設の整備状況などです。

③ 野洲川グランドゴルフ場
平成8年度に都市公園として整備。現在は指



伐木され見晴しも良くなった古城山山頂

定管理者「日本観光開発(株)」が管理運営を行っています。

④ 水口スポーツの森
野球場、多目的グラウンドが整備されたあと、現在陸上競技場のスタンド、トラック等の整備がすすんでいます。



整備がすすむ陸上競技場

⑤ みなくち子どもの森
⑥ 日立建機ティエラ
(工場見学)
建設用機械や除雪機などを製造されており、



続々と生産されるラインを見学

75%が輸出です。
⑦ 桜ヶ丘地区下水道面整備工事及び配給水管移設工事



3月には完成予定

(まとめ) 水口を中心地を見おろす古城山に登り、頂上付近の整備状況にビックリ。運動と森林浴を兼ね甲賀の癒しのスポットに最適。みなくち子どもの森は、自然関係の体験や学習の場として学校では定着しているものの、一般には知られていないのが現状。230万年前の甲賀のようすなど大人も必見の価値あり。

古城山、子どもの森など宣伝方法等に工夫がほしいと思いました。

今回は水口エリア

委員会報告

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

多様な課題に持続的審議を

二年間の活動の総括と今後の課題について各課所管別に集約しました。

教育総務課

- 1 市教育基本計画の策定
- 2 適正規模等検討委員会による検討作業
- 3 学校における安全対策の推進

学校教育課

- 1 特色ある学校づくり事業
- 2 外国語能力向上事業
- 3 特別支援教育および相談事業
- 4 就学支援・奨学資金事業
- 5 子どもの安全・安心事業

こども未来課

- 1 幼保一体化施設の運営・検討・整備について
- 2 特色ある幼稚園づくり

生涯学習課

- 1 図書館システムの統一化
- 2 公民館のあり方について
- 3 公民館施設の維持補修
- 4 生涯学習支援スタッフネットワークの運営
- 5 育成事業の実施
- 6 学習活動の推進
- 7 青少年健全育成事業

生涯スポーツ課

- 1 総合型地域スポーツクラブの推進
- 2 体育指導委員活動の推進
- 3 スポーツ関係団体等の自主的・自立的活動の推進
- 4 社会体育施設の整備

人権教育課

- 1 文化のまちづくり審議会答申の具現化
- 2 文化・スポーツ関係公益法人の設立
- 3 文化団体や文化継承への支援と自主運営促進
- 4 文化財の保存管理計画の策定
- 5 中世城館跡の国史跡化
- 6 地域文化財の情報発信
- 7 甲賀市史の編さん事業

文化振興課

- 1 文化のまちづくり審議会答申の具現化
- 2 文化・スポーツ関係公益法人の設立
- 3 文化団体や文化継承への支援と自主運営促進

歴史文化財課

- 1 紫香楽宮跡関連遺跡の保存管理計画の策定
 - 2 中世城館跡の国史跡化
 - 3 地域文化財の情報発信
 - 4 甲賀市史の編さん事業
- 以上様々な課題があり委員会としてさらなる研鑽努力が必要となります。



耐震補強が施された油日小学校



所管事務調査

リニューアルされた「あいこうが市民ホール」

当委員会は教育関係施設の整備状況について調査を行っています。今回は調査が完了した次の施設を調査しました。

水口中央公民館・油日小学校については、耐震強度の不足を補う工事であり、城山中学校と甲賀中学校はエレベーター一基を新設すると共に特別教室等の一部を改造する工事です。

また安全・安心な学校づくり交付金事業で設置された城山中学校の夜間

- 照明は、サッカー・ソフトボール・そのほか多目的な利用が可能となりました。
- 水口中央公民館耐震補強工事
- 城山中学校バリアフリー化工事
- 城山中学校グラウンド夜間照明施設整備工事
- 油日小学校耐震補強工事
- 甲賀中学校バリアフリー化工事
- あいこうが市民ホールリニューアル



平成19年 第7回甲賀市議会定例会代表質問

平成19年12月12日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	20番	中西弥兵衛	清風クラブ	1 平成20年度予算編成方針について問う
				2 新名神開通後のまちづくりについて
				3 改正建築基準法の施行に伴う建築確認等の遅れについて問う
				4 発達障害児（者）の支援充実に向けての取りくみ方針を問う
2	11番	小松 正人	日本共産党 甲賀市議員団	1 広島市の平和希求に連帯できる甲賀市の平和施策について
				2 平成20年度予算編成方針を問う
				3 甲賀市内における地域医療体制の充実について
3	2番	林 勝彦	正政会	1 平成20年度予算編成について
				2 地域情報化について
4	13番	加藤 和孝	公明党 甲賀市議団	1 平成20年度予算編成方針について
				2 理解しやすい財務書類の開示について
				3 発達障害の支援について
				4 放課後子どもプランについて
				5 読書環境の整備について
				6 減災に向けての取り組みについて

平成19年 第7回甲賀市議会定例会一般質問

平成19年12月14日・17日

順番	議席番号	氏名	質問事項
1	5番	鶴飼 勲	1 広聴リポーター制度について
			2 本市におけるモンスターペアレントの実態と対策について
			3 デマンドバス運行開始の効果と今後の課題について
2	1番	山岡 光広	1 新幹線栗東新駅計画中止とその教訓について
			2 税金の使い方について
			3 地上デジタル問題について
			4 希望ヶ丘地域にかかわる課題について
			5 乳児・新生児の死亡率について
3	28番	橋本 律子	1 よりよい子育て支援と環境づくりについて
			2 障がいをもつ人たちにやさしいまちづくり
4	21番	安井 直明	1 国民健康保険の医療費一部負担金の減免制度拡大について
			2 よりよい保育を実施するためにも、臨時保育士、パート保育士の給料、単価の引き上げをせよ
			3 18年度決算における歳入で税を除く過年度収入未済額の今後の取り扱いについて
			4 街並み環境整備事業の延長として大野地先の改良を
			5 財政が厳しいとき繰り上げ償還や金利の高いものは借換債により経費の削減を図るべきだ
5	6番	土山 定信	1 限界集落についての市長のお考えを問う
			2 クリーンセンター滋賀の答弁の確認について
6	27番	中島 茂	1 情報施設について
7	24番	岩田 孝之	1 新たな工業団地について
8	4番	拙 藤男	1 公民館の状況について
9	17番	辻 重治	1 希少動植物の保護について
10	22番	友廣 勇	1 民間協働事業について
			2 随意契約について
11	14番	野田 卓治	1 人口急増地域にスポーツ施設を兼ねたコミュニティホール建設を
			2 若者が住みやすい環境作りを
			3 教育問題の現状について
12	7番	木村 泰男	1 甲賀市のスポーツ振興策について
13	15番	福西 義幸	1 円滑な米政策改革の推進と地域水田農業ビジョンの実践に向けた支援策は
			2 市農業を支える担い手の育成・確保に向けた支援策は



各党派による 代表質問

平成20年度予算編成方針について問う

清風クラブ



中西 弥兵衛

問 4つの課題について質問と答弁の要旨を紹介する。

問 新たに採用する枠配分方式は現場主義を徹底させ、あれか、これかの取捨選択の良い機会だと考えるが余裕のない財政事情の中で中嶋色が出せないのではないのか。

市長 全職員と一丸となり本市総合計画に掲げる「人、自然、輝きつづけるあい甲賀」の理念や方向を共有することにより中嶋色を出していくことが可能と考えている。

問 国・県予算編成方針から想定される本市への影響とその対策について。
市長 約400億円の財源不足から多くの補助金委託料の廃止・削減が予想されますが、私としては県は県としての責任を

果たされるよう県市長会を通じ強く要請したい。

問 新名神開通後のまちづくりとして地域資源を活用した観光誘客策を考えるべきではないか。

市長 「観光資源活用トータルプラン」や「観光地域づくり実践プラン」の中で市内の豊富な観光資源を生かした甲賀市観光として幅広くプロモーションしていきたいと考えている。観光業者の声もぜひ参考にしたい。

問 構造計画書偽装による改正建築基準法の施行に伴う公共事業への影響はどうか。
市長 水口スポーツの森陸上競技場メインスタンド建設工事において確認申請の遅れが生じていたがやっと見通しがついた。平成20年3月発注予定。

問 発達障害児(者)への生涯にわたる一貫した支援体制の整備を早急に図るべきではないか。

市長 現在は「甲賀市特別支援連携協議会」で対処しているが今後他市での課題を研究しながら、発達障害を持つている本人はもちろん、保護者に安心してもらえるよう平成21年度を目途に(仮)発達支援室の設置を検討する。

問 在宅で介護や医療が安心して受けられるシステムは緊急の課題。広島県尾道市では、地元医師会の主導で、病院の主治医と開業医が連携し、病院のケアマネージャーを中心に、患者と家族、看護師、ヘルパーが短時間のケアカンファレンスを実施して患者さんの把握をしている。甲賀市として、学ぶことは何か。

市長 公立甲賀病院と市立病院、民間医院の連携を軸に、地元医師会にご理解を頂き、医療連携が出来るように強く働きかけた。尾道市のように安心して医療環境を整備して参りたい。

問 水口市民病院の今後のあり方につき、市民にアンケートを実施しているが否定的な設問が多い。市長はどうお考えか。

市長 アンケートは病院の現状を説明した上で、水口市民病院の将来の将来像を画像を同

甲賀市の地域医療連携システムをどう構築するか

日本共産党



小松 正人

問 在宅で介護や医療が安心して受けられるシステムは緊急の課題。広島県尾道市では、地元医師会の主導で、病院の主治医と開業医が連携し、病院のケアマネージャーを中心に、患者と家族、看護師、ヘルパーが短時間のケアカンファレンスを実施して患者さんの把握をしている。甲賀市として、学ぶことは何か。

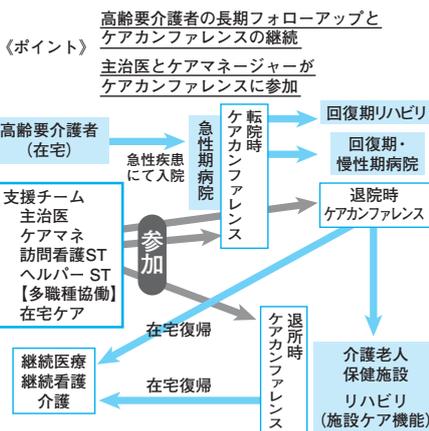
市長 公立甲賀病院と市立病院、民間医院の連携を軸に、地元医師会にご理解を頂き、医療連携が出来るように強く働きかけた。尾道市のように安心して医療環境を整備して参りたい。

問 水口市民病院の今後のあり方につき、市民にアンケートを実施しているが否定的な設問が多い。市長はどうお考えか。

市長 アンケートは病院の現状を説明した上で、水口市民病院の将来の将来像を画像を同

市長 参加児童の増員を検討、体験した内容を伝え平和の尊さを考えたい。他に平成20年度予算編成の方針を質問した。

尾道市における地域医療連携システム



広島市原爆ドームの前で

代表質問

平成20年度予算編成と地域情報化について

正政会



林 勝彦

問 平成20年度の予算編成での最重要課題は。

市長 一つには、甲賀市総合計画に掲げている「人・自然・輝き続けるあい甲賀」の理念・基本方針・目標に示すまちづくりの推進。もう一つは、本市の行政改革大綱、行政改革推進計画、財政健全化指針、職員定員適正化計画など「集中改革プラン」を、実践していく事が、重要な課題と考えている。

問 枠配分基準と考え方は。

市長 枠配分の基準は平成19年度予算及び平成18年度決算値を基に、人件費



や公債費、繰出金、行政事務組合等の負担金を試算し、一般財源とした残りを枠配分とした。経常経費を第一次枠とし各部署に配分し投資的経費や新規計画事業については第二次枠として配分、戦略的な政策枠は、総合計画枠も含め、最終の枠配分とした。枠配分の考え方は、所掌事務事業の内容に応じて配慮するとともに、福祉や教育、子育てなど重点とすべき分野については一定の考慮を加えて配分した。

問 県の事業見直し案が来年度予算への影響は。

財務部長 試算では、福祉関係で1億6千万円、市町村振興補助金で3千万円など、全体では2億1,400万円程度

の影響額となる見込みである。

問 甲賀市地域情報化計画並びに推進プランが発表されたが、その後の取組状況はどうなっているか。

企画部長 情報通信基盤の構築は、民間活用を市の基本姿勢とし、「情報格差の解消」と「情報の一元化」に向けて、優先的に市内三事業者との協議・調整に取り組んできたが、現時点での状況では全域化に向けたケイブルテレビ事業の着手は時期尚早と判断し、平成20年度交付金事業による実施は一旦断念せざるを得なくなったが、早期に解決しなければならぬ重要課題と認識しており、早期実現に向け鋭意努力する。

平成20年度予算編成方針について問う

公明党



加藤 和孝

問 平成20年度予算の決算から適用される「地方公共団体財政健全化法」の「早期健全化団体」や「財政再生団体」にならないようにするための予算編成の考え方を伺う。

市長 基礎的財政収支の黒字化を維持すること、公営企業・特別会計における独立採算的経営の徹底、事務事業のアウトソーシングなどを編成方針として掲げ、歳入に見合った歳出を基本に真に必要な施策の展開を図れる予算編成としたい。

問 軽度発達障害を早期に発見するには5歳児健診が必要では。発達障害について啓発を行う一方、発達支援室などの総合窓口となるような体制をつくるべきでは。

健康福祉部長 現時点

では5歳児健診は考えていない。研修会や講座などを開催して啓発しているが、さらに理解が広がるよう努める。今後、相談窓口や管理体制の充実整備を図るため、(仮称)発達支援室の設置に向け検討する。

問 「放課後子ども教室推進事業」に取組むべきでは。「児童クラブ」につき、高学年児童の受入れや、高学年児童を対象とした「季節児童クラブ」を設けるべきでは。

教育長 来年度から「滋賀県放課後子ども教室推進



守谷市立松ヶ丘小学校での「放課後子ども教室」の様子

事業」を実施する。健康福祉部長 余裕のある児童クラブでは高学年児童も受入れている。今後、「放課後子どもプラン運営委員会」の中で、安全な施設の確保や指導員の確保など協議を進めていく。



市政を問う

13人の議員が登壇

一般質問

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様様をご覧ください。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

◎傍聴のご案内
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことができます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

問 現役大学生の広聴リポーター制度について。
市長 市民から市政に対する様々な意見を聞くことは、市民参画のまちづくりを進める見地からも重要である。日頃から、市民の幅広い年代層から

問 学校に対して理不尽な要求をする保護者（モンスターペアレント）が社会問題化しているが本市の実態と対応策は。
教育長 本市においても保護者からの理不尽な要求と推察される事案が発生している。事案の発生時には、問題を共通理解して組織的に問題解決に当たっている。学校・学級運営などに悩みを抱える教師に対してもケア・サポート体制に万全を期しており、今後も関係機関が連携して課題解決に努める。

議員 勲 飼詞 鵜

A 毅然とした態度で対応

Q 学校への理不尽な要求実態

寄せられる「市長への手紙」や「市長ぐるっと1ク」をはじめ各種審議会・委員会、特定した政策案に対する「パブリックコメント制度」等での市民の生の声を無駄にすることなく、大学と協働した事業仕分けの手法を活かしながら市民の声を市政に反映する。
問 デマンドバス運行の効果と今後の課題は。
企画部長 デマンド方式試験運行中のサントピア（貴生川駅ルート）は輸送効率の良い路線である。今後対象路線の基準についても協議する。



交通弱者対策として期待されるデマンド交通システム

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです

山岡光広 議員

Q アナログ放送全面停止は問題

A 段階的停止を政府が検討

新幹線東新駅中止の教訓、財政危機のなかで同和・人権啓発紙誌の経費と比べて市内図書館の図書費が大幅に削減されている実態を紹介しながら税金の使い方の問題点、地上デジタル放送への対応と支援策、希望ヶ丘の上下水道移管にむけた課題、高い乳児死亡率と施設整備の五つの課題で、持ち時間（30分）を有効に使う質問した。そのなかから、地上デジタル問題での質問と答弁要旨を紹介する。

問 2011年7月24日アナログ放送停止・全面デジタル化には問題がある。

市長 全国一斉にアナログ停止すれば混乱が生じる。アナログは段階的に停止、格安チューナーの開



発、難視聴むけの対策について政府が検討中。

問 地デジ受信のための個人負担への支援策。

企画部長 経済的な理由により視聴できない世帯への支援策は政府が検討中。

問 KBSの視聴は。

企画部長 市内全域で視聴できるように県に働きかけていきたい。

問 相談窓口を。

市長 相談には応じる。広報でも紹介する。

Q 子育て支援・環境づくりの今後は

Q

橋本律子 議員

A 関係機関と協議する

A

問 放課後子どもプランの具現化をどう考える。

教育長 平成20年度から放課後対策事業として公民館等の社会教育施設において、市内12公民館で土・日中心に実施予定。

福祉部局と連携し、保護者・学校・行政等で「放課後子どもプラン運営協議会」を設置し協議予定。

問 開かれた学校としての公共施設利用の考えは。

教育長 市立学校施設開放条例に基づき、体育館・グラウンド等学校教育に支障のない範囲で地域住民に開放し、利用頂きたい。空き教室等は安全管理の課題もあるため、

運営委員会でも検討し、条件整備してまいりたい。

問 学童保育対象枠外（4～6年）、特に就労されている家庭の児童への対応はどんな状況か。今後は。

健康福祉部長 14クラブのうち7クラブに余裕があり利用19名。教育委員会と連携し、協議を進める。

問 障がいをもつ人たちの就労体験・支援強化を。

健康福祉部長 企業や民間事業所への就労につながるため、就労移行推進検討会を設置し、新たな就労支援システムづくりを図る。

問 発達障害児（者）への相談窓口・一貫した支援体制づくりを検討されたい。

健康福祉部長 平成21年目途に（仮称）発達支援室設置を検討する。



安井直明 議員

Q 広島市のように国保医療費の減免を

A 参考にしているが、考えていない

問 くらしがたいへんななか、広島市では、国民健康保険の医療費一部負担金の減免がなされている。甲賀市でも実施を。

市長 広島市の例を参考にしているが、減免は考えていない。

臨時・パート保育士の給料を上げよ

問 臨時・パート保育士の確保が大変難しい現状がある。給料や時間単価を抜本的に引き上げるべきだと考えるがどうか。

市長 現時点での見直しは考えていない。

問 18年度決算委員会で過年度分の収入未済額について指摘した。20年度予算に向け統一した見解を示し、整理すべきと考えるがどうか。

財務部長 特別対策推進

本部を設置し、検討・協議をしている。

今宿まで道路改良を

問 土山の東海道田村神社から若王寺までは、側溝改修、カラー舗装、防犯灯の整備ができ、市民から喜ばれている。片山から今宿の整備の実施を。

建設部長 平成23年度以降事業化の予定である。

問 繰上げ償還や借り換えを市市の借金の中に、高い金利のものがある。基金を使い繰上げ償還せよ。低金利に借換をせよ。

財務部長 積極的に対応する。

2年目の正規職員と臨時保育士の差額

	月額	年間支給額
正規職員	170,200	2,808,300
臨時職員	163,800	1,965,600
差額	6,400	842,700



一般質問

Q 甲賀市に限界集落はあるのか

A 現在のところはないが

土山定信 議員

問 市内で限界集落とされる集落は。

市長 人口データを基に算定し、調査したが該当する集落は、当市にはない。

問 過疎対策への取り組みと、その結果は。

市長 国が指定する過疎地域は市内には該当しないが、過疎対策に類似の事業として、現在継続して取り組んでいる中山間地域総合整備事業では獣害対策や排水路整備、農道整備等により、地域農道や集落機能の維持強化に向け、基盤整備を中心とした農業施策など過疎

対策に結びつく事業として挙げられており、一定の効果と役割を果たしているものと考えている。

問 過疎対策に対してソフト面、ハード面で今後の計画は。

市長 ソフト面では現在取り組んでいる中山間地域等直接支払交付金事業、農地・水・環境保全向上対策、森林整備地域活動支援交付金等が共同の取り組みとしてその効果が期待されている。

ハード面では、中山間地域総合整備事業や村づくり交付金等が計画されている。今後、甲賀市総合計画や甲賀市国土利用計画により具体的な施策の展開に努める。



ある集落の新年会

Q 情報施設の管理等について

中島 茂 議員

A 20年度内に移設予定

問 コンピュータのメインフレームは水口庁舎3階にあるが、総重量は大変な重さであり地震で落下する危険性がある。早期の移転計画を実施する必要性がある。

市長 甲賀市の電算システムは、住民記録や税、各種料金等の基幹業務。文書管理や財務会計等の内部事務の電算化により、台帳のペーパーレス化が進み電算システムへの依存度が増大。一瞬たりとも停止できない。

システムの中核の機器は水口庁舎別館の3階に設置。場所の選定には本庁の各所管と綿密な連携により迅速な対応が要求されたことから水口庁舎に決定された経緯がある。設置に際してはサーバーや補助電源・プリンタ等機器の総重量は約9

トン、一平方メートル当たり500キログラムに耐える構造が必要であり梁の補強や加重分散用鉄板の敷設対策が施された。

しかし建物は昭和51年建築で梁のたわみが生じており市民や職員の安全確保と機器の損壊による調達には3ヶ月以上が必要であることから安全性の確保やシステムの重要性の観点から平成20年度内の移設に向けて必要な対策を講じていく予定である。



水口庁舎3階のコンピュータ

Q 新たな工業団地の確保は

A 市内5箇所を選定し、細部の調査を実施

岩田孝之 議員

問 市内への企業立地と工業団地の現状は。

市長 過去3年間で47企業の立地を頂いた。市内には、11の工業団地があるが、新名神の開通と併せて電子機械、輸送機械

あるいは、最先端企業など、あらゆる企業が立地し、地理的優位性の高い生産流通拠点として様々な企業から注目を浴びる地域になってきている。この9月に発表された平成18年工業統計の調査では、甲賀市の製品出荷額は7、188億円で県下第1位となった。

問 新たな工業団地の確

保について進捗状況は。

市長 甲賀市国土利用計画に示しているとおり、開発の容易性、法規制、社会インフラの状況を鑑み市内5箇所を選定し細部の調査を実施している。開発手法については、市の負担が少なく早く着手できる方法とか、その主体について県と調整を図っている。

問 団地造成の目標をいつにしているか。

市長 環境アセス、用地取得等に2年以上、造成にも最低2年が必要である。



甲賀市工業会設立総会

一般質問

議員 藤男 拙

Q 公民館での2階への昇降

A 改修計画と関連して検討

問 公民館は市民の皆様が集う一番身近な場所として、また、様々な学習の場として活用されている。市内23館の公民館のうち2階に大会議室や研修室を設置されている館が多い。多数の方が集われる中、高齢者の方や障がい者の方が参加されにくいとの声を聞くこともあり、各地域からはエレベーターを付けてほしいとの要望も聞いている。対応や整備はどのように考えているか。

教育長 2階建て以上の施設が15館あり、大会議室等を2階に設定している館も多くあります。車椅子用のトイレやスロープを設置している。しかし、エレベーターはかぶか生涯学習館、車椅子用昇降機は、水口中央公民館に設置されているのみ。

現在、お一人で階段を昇降できない方については1階施設を利用いただいているが2階施設を利用いただく場合には職員等が介助者として付き添うことで対処している。

エレベーターなどの昇降機設備の設置が必要であることは十分認識しているが、建物や設備の老朽化による維持補修がまず喫緊の課題であり昇降機の設置については、構造上の問題もあり、今後の改修計画と関連して検討する。



水口中央公民館の昇降機

Q 希少動植物の保護を

A 保護区の設定必要

議員 重治 辻

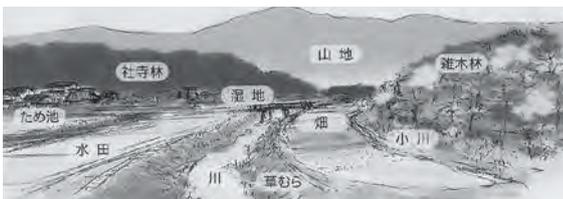
問 丘陵地形の特徴である里山は、豊かな自然が多く、多種多様な動植物が生息・生育している。開発と併せ保護をどのようにするのか。

建設部長 県内および近畿地方において、重要性が高いとされる湿地・湿原がある。保護には、地権者を始めとする地域の方々のご理解を得ることが大切である。希少な動植物が生息することが判明するなどした地域では地元とま

ず協議し、特殊な生態系や、その他の状況を十分に把握し甲賀の大切な自然が保護されるよう努めるべきと考える。今年度、作成した甲賀市レッドデータブックをもとに今後の保護活動に活かしたい。

市民環境部長 「ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例」が制定されており、これに基づき、市内において調査が実施されている。重要な生息・生育地では「生息・生育地保護区」の設定が、

検討され、この調査結果を踏まえ、県と調整する。



Q 甲賀市の頑張る地方応援プログラムは

A 生ごみ堆肥化推進事業で参加

議員 友廣

問 国・県は「福祉の向上」と銘打って多くの補助事業を市町村に提案、結果的に大きな負債を抱えさせ、財政悪化を生んだ。住民との協働を基本とする地域の特色を生かしたプロジェクトである「頑張る地方応援プログラム」にどのように参加しているか。

企画部長 このプログラムは具体的成果を掲げ、その内容を住民に公表したものであることが条件のもと、生ごみ堆肥化推進プロジェクトで応募した。平成28年に2万世帯の参加を目標としている。

問 このプロジェクトは10年間で10億の事業であり、他の自治体はそれぞれの課題に取り組みため複数のプロジェクトで参加しているが。

企画部長 この事業は、

市民事業者、行政の協働による先進的な取り組みで全国的に注目されている点や新規ではなく既存事業も適用になる点から選定した。

問 地域や団体が直接申請できる国交省事業で「くらしのみちゾーン」があるが、行政の支援は。

建設部長 交通安全や生活環境の質の向上を図るもので、道路にクランクやバンプ等も設置できるものである。県内では大津市他3事例がある。今後の検討課題とする。

問 この他、18年度の随意契約について質問をした。



生活改善のため、くらしのみちゾーンを模索する地域



一般質問

Q スポーツ施設を兼ねたコミュニティホールを

A 活動拠点必要、調査研究を行う

野田卓治議員

問 人口急増地域のスポーツ施設を兼ね備えたコミュニティホール建設を。

市長 協働のまちづくりを推進していくため、伴谷地区というよりも、水口北部全体として活動拠点整備が必要である。具体的に施設の規模や場所、財源や整備手法など調査研究を行う。

問 若者が住みやすい環境づくりについて。

①住宅地の優良化を。

建設部長 住宅団地の道路舗装、排水路等の改修に対応しており、

地すべり崩壊地においても、復旧に取り組む。

問 ②周辺施設の整備を

企画部長 水口の中心市街化については、支援を検討し、また既存施設の有効活用が図られるよう対応に努める。

問 ③移住者に対し優遇制度を考へては。

企画部長 人口が減少している地域、労働力不足の実態から、総合計画に示した施策を進めつつ、本市への愛着心を育て、魅力あるまちづくりに努める。

このほか、いじめ問題について、現状と「ストンプいじめアクションプラン」の活用状況、子ども達の安全を守る運動から学ぶものについて質問。



安全を守る運動

Q 市のスポーツ振興策は

木村泰男 議員

A 健康・スポーツのまちをめざす

問 スポーツ少年団の活動状況と今後の在り方は。

教育長 11種目69団体に、1570人の団員が

483人の指導者のもとで積極的に活動している。団員の減少にチームの統合等に対応。今後は種目別の組織統合を進めたい。

問 中学校の部活動への支援は。

教育長 活発な活動で優秀な成績をあげており、積極的に支援している。指導者の確保や部員の減少が課題である。

問 部活動における中高の連携は。

教育長 高校生の部活動離れのなか、学業と共に重要である。合同練習による中高交流もあるが早期勧誘につながる。各高校の魅力ある学

校づくりに期待したい。

問 好成績の児童・生徒への激励と顕彰は。

教育長 今年度8団体63人が全国大会に出場。交付要綱による激励金、激励会を実施。広報「あいこうか」で紹介。

問 総合型地域スポーツクラブの活性化は。

教育長 来年2月、土山に9団体が誕生。連携と交流を図るため連絡協議会を9月に立ち上げた。積極的に支援する。

問 地域密着型のクラブチームの育成は。

教育長 年度内に「市スポーツ振興基本計画」を策定する。



活躍するルネサンス部女子ソフトボール部

Q 農作物、品目別生産地域指定は

A 「とも補償」制度とリンクさせる

福西義幸議員

問 円滑な米政策改革の推進と地域水田農業ビジョンの実践に向けた支援策は。

産業経済部長 本市においては、平成22年度までに「米づくりの本来あるべき姿」の実現のため、関係機関がそれぞれの役割分担のもと諸施策に取り組んでおり、売れる米づくりの推進による農業所得の向上を図る戦略を、JA甲賀郡とともに構築する考えである。また、適地適作を

基本とする「とも補償」制度は、提案を参考に水田農業推進協議会で検討を行う。

問 市農業を支える担手の育成・確保に向けた支援策は。

産業経済部長 本市においては、JA・県・市・農業センターが連携し、説明会や相談会を実施するとともに農作業の省力化、効率化を図るための大型機械の導入についても、購入やリースに対して支援を行っていく考えである。



特別委員会・組合議会の動き

交通対策特別委員会

**デマンド(事前予約制)のタクシー！
バスの更なる導入の検討が必要**

交通対策特別委員会 研修を終えて

今日、民営バス撤退に伴い自治体が弱者の足を確保するため、バスを自主運行しています。広大な面積を有する甲賀市で「コミュニティバスをより便利に走らせる」この課題を持って、利用予約を目的としたデマンドバスの研修を実施しました。

郡上市白鳥地域では、

デマンド型乗合タクシー(ワゴン車10人乗り程度、3台)で病院、公共施設、商店街を運行。利用客も年間約9,000人程度。全市的な運行はありません。一方、三好町は、32km²と狭小面積と財政力も豊かな町。2路線運



デマンド型乗合タクシーを視察

行の町バスと予約による乗り合いタクシーでバスとの乗り継ぎサービスを実施。料金も100円と格安でした。

研修を終え、今後の課題として利用ニーズを把握し、利用客の人数にふさわしい車両の配車、デマンドタクシーの導入など検討が必要であると実感しました。

新名神地域振興特別委員会

新名神いよいよ開通

新名神は大きな夢と希望・期待をのせて2月23日、午後3時、開通します。95年12月に建設着手されてから12年2ヶ月となります。近畿と中部を最短ルートで結ぶ高速道路にかける地域の期待は格別なものがありません。

甲賀市には多くの歴史、文化や伝統産業があり、

自然環境にめぐまれた観光資源やインター周辺の土地利用など、地域経済の活性化に大きな期待を寄せているところです。

議会では、「第二名神対策特別委員会」を設置し、早期事業化の要望と併せ、アクセス道路やサービスエリア・パーキングエリアなど市民の皆さんからの要望事項の解決に取り組んできました。高速道路が開通するこ

興特別委員会」を新たに設置し、甲南インターの工事や、アクセス道路整備など今後の課題に向け、取り組むこととなります。



開通前の新名神を視察

産業廃棄物対策特別委員会

**ゆとりと潤い
廃棄物の適正処理が生み出す快適なまち!!**

平成17年12月議会にて設置された「産業廃棄物対策特別委員会」は、廃棄物の現況と市内及び県外の廃棄物処理施設の現地調査を行い、認識を深めてきました。なかでも甲賀町に建設中のクリーンセンター滋賀の安全性という観点から、特に水質に視点をおき、議論を展開するとともに調査活動を行い、その結果、当局に対し次の三点について意見を申し入れ、議会には報告書を提出しました。その内容は、

- ① 下流に流れる雨水等の安全対策、② 市独自の監視委員会等の創設、③ 安全・安心の施設であることの周知徹底、です。

後期は「環境・廃棄物対策特別委員会」と名を変え、新たに



大阪フェニックスセンターを視察

設置されました。生活の目線での「ゴミ」問題。食べきれない食材、食品トレイ、パックや紙、スチール製品などゴミ収集日には消費生活を利用し過ぎた跡形をポイと放り捨てる。毎日の便利な消費生活にかかっている「コストや資源」、難なく手に入っていたものが高い対価を求められる。そんな時代の検証も必要なのでは...と考えています。

特別委員会・組合議会の動き

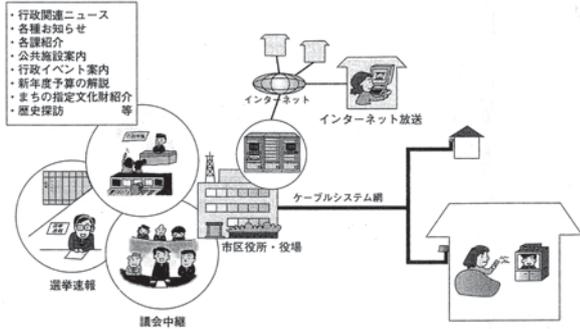
地域情報化
推進特別
委員会

情報格差の解消

高度情報化社会の中で、情報化施策を示す基本的な方向について検討が行われました。市発足当初から、企画常任委員会、その後は総務常任委員会、で調査・研究された事をふまえ、「地域情報化推進特別委員会」を8回開催してきました。

広範囲な甲賀市内では、情報化に、さまざまな差が生じており、ブロードバンド整備が進展しているものの、市内全域まで整備されていません。多種あるメディアの一元化を行うことは、市民のくらしに安全と安心を提供することです。

2011年には、地上波デジ



行政情報提供サービスのイメージ

タル放送が開始されることから、市内において早急な対応が求められており、放送と通信を融合したサービスについて一定の理解をしました。

今後は新たに、「地域情報対策特別委員会」を設置し、大きく進展する情報通信について、調査研究することとなりました。

甲賀広域
行政組合
協議

安心・安全のまちづくりへ

平成18年度甲賀広域行政組合一般会計決算をはじめ、補正予算、甲賀広域行政組合行政財産使用料徴収条例の制定などを決める甲賀広域行政組合議会が、12月25日開催されました。また、山川宏治議員が監査委員として同意されました。

平成18年度決算の主なものは、市税滞納繰越額の1億円余を徴収し尿処理では、18年度から運転を開始した泥再生処理施設の運転、ごみ処理では、年間4万2千トンを24時間運転により処理。土山分署移転用地取得や湖南中央消防署の高規格救急自動車更新などです。

19年度補正予算では、人事院勧告による



新名神に対応し新築された消防土山分署

給与等の補正、退職などにより減額となりました。また、公共的団体が鹿深ホールを使用する場合の行政財産使用料徴収条例が制定されました。

一般質問では、安井直明議員が、開かれた行政組合に、し尿汲み取り券の収入、鹿深ホールなどの施設改修、消防のマンパワの確保問題などを取り上げました。

甲賀公立
病院協議
会

新たな公立甲賀病院 組合議会が開催

12月25日第2回臨時議会が開催されました。

提案された議案は、先決された一般会計を含む補正予算2件、条例の一部を改正するものが4件、職員の自己啓発等休業に関する条例制定が一件でした。

自治体が経営する多くの公立病院には医師確保など多くの課題があります。提案された職員の給与に関する条例改正では、宿日直手当の増額や若年層に厚い給与体系の導入が図られました。

また条例改正では、総額1千9百万円の増額となりますが、職員減などにより、結果的に当初予算内で対処できると管理者より

説明がありました。

その他、職員の育児休業や勤務時間と休暇に関する条例の改定についても慎重に審議し、提案されたすべての議案を全会一致で可決しました。

計画が遅れている甲賀病院移転問題では、今後の着実な進展が求められます。



新たに構成された議員で開催された議会模様

くろぎこうか

Vol.9

甲賀の味

シリーズ①



日の菜の洗浄作業

日の菜は、滋賀県で最も有名な伝統野菜として、甲南町、水口町、日野町などで栽培されています。



カブの甘い香りがいっぱいです。ふるさと土山の味と香りです。特産の千枚漬は、土山町平子食品加工グループが丹精込めて作られています。漬込は、11月から

です。早朝に収穫し、機械による皮むき・スライ

ほろろの千枚漬

甲南の日の菜

ます。特に甲南町稗谷の日の菜は、最適な土壌に恵まれ、「さくら漬」、「ぬか漬」などに加工するため、京都の漬物屋さんなどに出荷されています。現在、地元でも稗谷の日の菜を漬物として製品化するため、農協女性グ

ループ、生活改善グループ、地元有志のグループなどが無農薬栽培や手作りなどにこだわり、試行錯誤を繰り返しながら甲南町の特産品にしようと呼びかけられています。



千枚漬の作業風景

ス、そして樽への塩漬と調味を加えて4日目に真心を込めてパック詰めさ

れ食卓へならびます。無添加で安心・安全。そして常に出来たての味を保っていて、食べ飽きないあっさりした味わいが人気です。



編集後記

▶ 議会広報特別委員会のメンバーも一新しました。前期同様に「より見やすく」「よりわかりやすさ」をモットーに、市議会の様子や市政の状況がリアルタイムで紹介できるように頑張ります。前期編集の『こうか市議会だより』が広報コンクールで優良賞を受賞しました。議員が編集・発行している「議会だより」は、全国でも貴重な存在です。それだけに議会後の編集作業など苦労もありますが、喜びもあります。

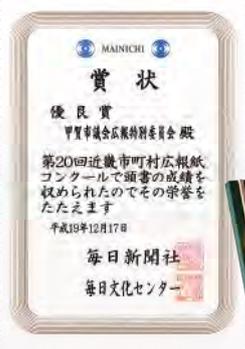
新しい広報特別委員会は、委員長＝山岡光広、副委員長＝林勝彦、委員＝辻重治、野田卓治、加藤和孝、石川善太郎、木村泰男、舩藤男。(委員長 山岡光広)

前期広報委員会編集

「こうか市議会だより」

近畿市町コンクール

優良賞



前期広報特別委員会が編集した「こうか市議会だより」12号が、近畿市町村広報コンクール(毎日新聞社主催)で「優良賞」に選ばれ、「毎日新聞」12月6日付で紹介されました。応募総数32件のなかから選ばれたもので、「表紙の写真がいい」「地域情報をわかりやすく説明している」「委員会や代表一般質問などきめ細やかな内容になっている」「特集は、イラストと写真を組み合わせてあつて読みやすい」などの審査寸評をいただきました。